



# くすのき

学校のシンボル  
くすの木

令和6年11月29日

さいたま市立土合小学校

## 年末年始の過ごし方

校長 白倉 秀樹

秋の訪れをわずかながらに感じたのち、一気に気温が下がった11月も過ぎ、いよいよ12月に入りました。暑さが厳しかった9月から一転し、冬の到来を予感させるこの時期は、長い2学期の終わりを実感させるものであり、1年の振り返りと新年に向けての準備に取り組む時期でもあります。子どもたちに話を聞くと、様々なことを計画していると話してくれました。

2学期を振り返り、予定していた学校行事を無事終えることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。一つひとつの行事を子どもたちの学びにつながるよう細かい点まで配慮した計画を作成し実践した本校教職員や、そこに惜しみなく御協力いただいた保護者の皆様や地域の皆様のおかげで実施することができました。この場を借りてすべての皆様に感謝申し上げます。先月号でもお伝えしましたが、子どもたちが自分で考えて行動する場面が多く見られたことが何よりでございます。この実績を令和7年にもつなげていきたいと考えております。

さて、いよいよ冬休みに入る時期となりましたが、この冬休み、今年度は13日間と非常に短い期間ではありますが、1年の締めくくりと新たな始まりを経験できる大切な時期として多くの方に認識されております。1年の終わりとして御家庭でも大掃除や片付けなどをするのではないのでしょうか。これは、1年の終わりに掃除をしてきちんときれいな環境で新年を迎えたいとする昔からの風習です。もし、大掃除や片付けをするのでしたら、ぜひ子どもたちにも関わらせていただきたいと思います。

今でこそ少なくなりましたが、しめ縄を新しく飾ったり、玄関に門松を飾ったりすることも昔から伝わる風習です。鏡餅を飾ったり、年越しそばを食べたりすることもあるかと思えます。こういった1年の締めくくりの時期には、ぜひ御家庭で今年一番頑張ったこととお子様とお話してください。そして、その頑張りを次につながるようなお声掛けをしていただきたいと思います。

大晦日の夜は除夜の鐘を聞きにお出かけする方もいらっしゃると思います。そして元日を迎えるわけですが、「一年の計は元旦にあり」ということわざにもある通り、元日は昔から大切にされている日です。そして、1月1日から3日までの「三が日」は官公庁や一般企業もお休みのところが多くなります。この間に初詣等にお出かけする御家庭も多いことだと思います。年末年始は家族で過ごすことも多くなると思いますので、ぜひ今年の抱負なども含めて多くのことを話し合ってもらいたいと願っております。

令和6年ももうすぐ終わろうとしております。保護者の皆様や地域の皆様、関係の皆様今年1年間の本校の教育活動への御協力を頂きましたことに感謝申し上げます。引き続き令和7年も皆様に変わらぬ御理解・御協力を賜りますようお願い申し上げます。年末の挨拶とさせていただきます。